

1. 地域の“お宝”って何? —地域のお宝を探そう—

私たちの暮らす地域には、日常のお付き合いの中で、支えあいや助けあいがたくさん行われています。しかし、多くの人は当たり前にある日常の営みであることから、その「お宝」のような大切さに気づいていないようです。皆さんも自分自身の暮らしを振り返ってみると、日常のお付き合いや地域の集まりの中で、お互いに気かけあい、支えあっている場面はありませんか? こうした暮らしがあるからこそ、自分らしい生活を今もこれからも送れるのではないのでしょうか? ここでは、暮らしの中にある自然な支えあいを『地域のお宝』として、その意味や価値を皆さんに紹介していきたいと思えます。



隣近所とのあいさつは、ゆるやかな見守りに繋がっているね。



趣味の集まりは情報交換の場になっとるわ。



2. 「支えあい活動=地域のお宝」の紹介

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、「withコロナ」に対応した地域のつながりを切らない取り組みがあま市内で行われ始めています。

稲作体験《田植え・稲刈り・もみすり・もちつき大会》 (沖之島地区コミュニティ推進協議会)

- 活動場所: 沖之島地区の田んぼなど
- 活動日時: 5・6・7・10月



苗を植えるのはむずかしいな。

子どもたちに田んぼに入ることや、お米を作って食べるまでの過程を経験させてあげたいとの思いから農家の方の協力のもと、休耕地を利用して、子どもと一緒に田植えからもちつき大会まで行っています。コロナの影響でもちつき大会はできませんでしたが、参加者には沖之島産無農薬のもち米のプレゼントがありとても喜ばれました。年長者から学びを得るよい機会となっています。



稲のかり方とお米をとる方法を教えてもらったよ。

◆役員の声

- 「子どもが参加すると親も一緒に参加されるので、その時にお話ができるよい機会となっている。」
- 「子どもと一緒に楽しめる行事を考えて、多くの人に参加してもらいたい。」
- 「地域の方々の協力があって色々な行事ができています。」

すてきポイント!

さまざまな行事を通して、地域住民と子どもたちの間で顔の見える関係性ができていると感じました。地域全体で子どもを見守る優しさがすてきです。



元気ですか!顔合わせ会 (花長地区寿会)

- 活動場所: 花長公民館
- 活動日時: 随時

ふれあいの場づくりとして、老人クラブの旅行や、行事に参加できない人たちも身近に集える居場所として茶話会とカラオケ同好会を開催しています。コロナの影響で中止していたところ、近所の高齢者から「やってほしい」と要望があり、今できるやり方でやってみようと『元気ですか!顔合わせ会』を開催しました。屋外で距離をとり、抽選会の後に少しでもお話を楽しましました。

◆スタッフの声

- 「久しぶりにみなさんが会って、喜んでくれてよかった。」
- 「公民館まで声をかけあって歩いてくるのも大切。」
- 「参加できなかった人に、また、声をかけてみよう。」

公民館まで歩くのも、運動になるね。



元気にしてた? みんな元気でよかった!



すてきポイント!

主催者はじめスタッフの人たちも、近所で参加できない人に対し、気にかけているところがすてきです。思いやりの気持ちを感じました。



玄米みんなの食堂 (實成寺)

- 活動場所: 實成寺 (中萱津)
- 活動日時: 第3土曜日または日曜日

玄米とバランスの取れた食事で、高齢者や子ども達の健康を整えたいと始まった食堂。食事の前に清掃や食事の準備などの奉仕活動を通して、参加者どうしの交流ができています。企業や地域の方からの食材提供があり、ボランティアの方々が毎回違ったメニューで温かい食事を作ってくれます。コロナの状況で、お弁当に変更したり、清掃活動を縮小したり、状況に合わせた対策をとっています。

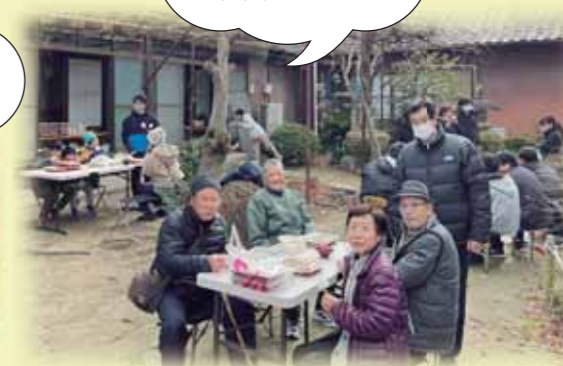
◆住職の声

- 「多世代交流する中で助けあい、人間関係が構築され、奉仕活動の素晴らしさと、働くこと、人の役に立つことの喜びを学んで欲しい。」

力餅の入った豚汁で体が温まるね。



みんなで食べると美味しいね!



すてきポイント!

地域の人達や企業が一緒になって、世代を問わない交流の場を提供されているところがすてきです。更にお腹がいっぱいになり幸せになれます。

